

1年越しの 思いが叶った

祝成人

令和2年度 同窓会



R2年度
竜丘地区同窓会

コロナのすぎ間をぬって三度目の正直。成人になった級友となごやかに同窓会で年の瀬に再会。

一年越しで集まった新成人 文化委員長 加藤 守孝

新型コロナウイルス感染症拡大に翻弄され一月、八月と二度に渡り計画をするも直前に延期、中止された令和2年度成人式。一生に一度の節目に懐かしい仲間と思い出を残したいとの声に、竜丘公民館では年末十二月二十九日に令和2年度同窓会を開催しました。委員長の大前明日翔さんを中心に七人の実行委員で企画された同窓会はネットワークや機材を駆使し来場できない人のためライブ配信したり、恩師の先生と電話対談を取り入

実行委員より

大前 明日翔

令和二年八月ごろ、竜丘公民館からの一本の電話で成人式実行委員となり、委員を集め、例年の三倍ほどの回数の会議を重ね、ついに念願叶って同窓会が開催できたと思うと、達成感やうれしさでいっぱいです。実行委員の皆さん、協力してくれて本当にありがとうございました。

西 祐紀

まずは、二回にもわたる延期中止にも関わらず今回の会に協力していただいた公民館の皆さん、地域の皆さんには本当に感謝しかありません。ありがとうございました。夏の会の「涙



祝成人
竜丘地区 成人式



笑顔の実行委員

方とお話をする中で、生まれ育った地域のことを考えることが多くありました。これも今後の人生に役に立てばと思います。

所澤 海月

成人式は開催することが出来ませんでした。同窓会という形で皆が集まれる機会を作っていただけ、大変有難いことだと感じました。懐かしいメンバーに会うことができ、楽しい企画を通して昔のように和気あいあいとすることができると嬉しかったです。

安田 颯志

一年越しで同窓会が開催できた(させていだいた)こと、心より嬉しく思っています。しばらく会っていなかった同級生と久々に会うことに不安もありました。しかし、すぐにそれは杞憂となり十年前と変わらないひとときを過ごせたことは一生の思い出です。



久しぶりの再会

時又初午はだか祭り

昨年にも続き
神事のみで開催



いつもと違う汲み上げの儀

令和四年三月十三日(日) 続き、本来のお祭りでの開催は断念せざるを得ませんでした。三月に入り「まん延防止等重点措置」が解かれたこともあり、お祭りに関する準備を進めてまいりました。しかし、相次ぐ新型コロナウイルス感染症の広がりや長野県内での「まん延防止等重点措置」の適用など準備を進めることも難しい状況が寺にて執り行うこととしました。

まず、神事を執り行う前にあたり、時又ふれあいセンターに関係者一同集合しました。ここで参加者の署名、体温の確認、手指消毒、マスクの着用を確認し、続いて簡易キット版の抗体量検査を実施し、全員が陰性であることを確認して神事に臨みました。神事では、十時に長石寺本堂前に集合し、「無心の儀」「清めの儀」を行い、祭りの実行委員は、時又港へ天竜川の水の汲み上げに向かいました。この間に、今回参加していただきました、還暦を迎える方たち六名は、長石寺本堂にてご祈祷を受けられました。

ドヤ顔・泣顔・笑顔あり 囲碁ボール ポッチャ 冬季スポーツフェスティバル



十二月五日(日) 竜丘公民館・竜丘小学校において、竜丘冬季スポーツフェスティバルが分館対抗で開催されました。今年度は二種目で、「ポッチャ」が前年に引き続き二回目、「囲碁ボール」は二年ぶりの復活となりました。近年行われていたワン

囲碁ボールでは、心地よい打球音を響かせる中、幅広い年齢層の皆さんがゲームに集中していました。初めての人や、慣れていない人は、打球がパワフルでしたが徐々に良

バウンドふらばらるパレーとスポーツ吹矢は、前年同様見送りとなっています。ポッチャでは、カーリング、ベタンクに似たようなルールで意外と理解度も高く、ボールの行方にドヤ顔・泣顔・笑顔あふりの楽しそうな雰囲気の中、各チームの駆け引きが伺える、好勝負が繰り広げられました。



囲碁ボール

い力加減になり、おもしろい試合展開に笑い声が増えていきました。レクレーション・体験会の意味合いの強い竜丘冬季スポーツフェスティバルですが、優勝は、ポッチャの部 上川路分館、囲碁ボールの部 時又分館です。おめでとうございます。

竜丘小学校開校一五〇周年記念事業として「木下紫水物語」が発刊され、二月二十一日に同校で六年生への贈呈式が行われました。木下紫水は大正時代、勤務した竜丘小で子どもたちの自由な表現を大切に「自由画教育」を指導し、その頃の作品は今も大切に保存されています。本を読んだ子どもたちからは「わかりやすかった」「紫水の生き方がすごい」

木下紫水物語 発刊



お問い合せは竜丘公民館(二六一九三〇三)まで。